

臨時手荷物預かり所も
開設します！



秋の観光シーズンにおける観光課題対策について(第9弾)

～近畿運輸局との連携による京都駅における移動経路の分散化等に係る実証事業の実施について～

京都市では、関係機関との連携の下、市民生活と調和した持続可能な京都観光の実現に向けた取組を進めており、秋の観光シーズンにおける観光課題対策を順次実施しています。

京都駅と観光地を結ぶ一部バス路線では、車内混雑が発生し、市民生活への影響が生じていることから、この度、国土交通省近畿運輸局が事業実施主体となり、国・京都市・民間事業者の連携により、期間限定案内所の開設による移動経路の分散化及び臨時手荷物預かり所の開設による手ぶら観光の推進に関する実証事業を行いますので、お知らせします。

1 実証事業の概要

(1) 移動経路の分散化(期間限定案内所の開設)

ア 内容

京都駅から観光地へ移動する旅行者向けに、多言語対応可能(日英中韓)な期間限定案内所を開設し、地下鉄・タクシーなど、旅行者にとって最適な公共交通機関への案内・誘導を行うことにより、移動経路の分散化を図る。

イ 実施期間

令和5年11月18日(土)、23日(木・祝)～26日(日)、12月3日(日)
の6日間(時間：9時～20時)

ウ 場所

京都駅ビル駅前広場(中央改札口前) ※ 詳細な場所は裏面参照

(2) 手ぶら観光の推進(臨時手荷物預かり所の開設)

ア 内容

京都駅から観光地へ移動する旅行者向けに、臨時手荷物預かり所を開設し、手荷物の一時預かり、宿泊施設への配送(※)を行うことにより、手ぶら観光を推進する。

※ 宿泊施設への配送は、本実証事業の枠組みではなく、

京都市と佐川急便株式会社の連携により実施

イ 実施期間

令和5年11月18日(土)、23日(木・祝)～26日(日)、
12月2日(土)、3日(日)の7日間(時間：9時～20時)

ウ 場所

京都駅ビル駅前広場(ホテルグランヴィア京都前)

※ 詳細な場所は裏面参照



イメージ

(3) 効果検証

旅行者に対して移動経路の分散化及び手ぶら観光に関するアンケート調査（日英中韓）を行い、アンケート調査結果等を基に、混雑を緩和するための課題・改善点の抽出や効果検証を行うことで、次年度以降の取り組みに繋げる。

2 実証事業の実施・協力体制

持続可能な京都観光の実現に向け、官民を挙げた実施・協力体制により取り組む。

<実施・協力体制>

役割		企業等
実施	実施主体	国土交通省近畿運輸局
	連携実施	京都市、京都市交通局、京都市観光協会、京都府タクシー協会
	全体統括	株式会社日本旅行
	臨時手荷物預かり所運営	佐川急便株式会社
協力	会場協力	京都駅ビル開発株式会社
	広報協力	西日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール西日本マルニックス、J R 西日本京都 S C 開発株式会社、京都駅ビル開発株式会社

※ 会場図



©京都駅ビル開発株式会社 (<https://www.kyoto-station-building.co.jp/>)

<問合せ先>

- 実証事業全般について 国土交通省近畿運輸局観光部国際観光課 (06-6949-6796)
- 移動経路の分散化について 京都市都市計画局歩くまち京都推進室 (075-222-3483)
- 臨時手荷物預かり所について 京都市産業観光局観光M I C E 推進室 (075-746-2255)

(参考) 秋の観光シーズンにおける観光課題対策の取組経過

(第1弾)	9月11日付け 広報発表	京都観光モラルの周知及び観光客向けのマナー啓発の取組強化
(第2弾)	9月15日付け 広報発表	手ぶら観光の推進（「HANDS FREE KYOTO」リニューアル及び地下鉄・バス1日券券面広告）
(第3弾)	9月21日付け 広報発表	交通混雑緩和に向けた対策（10月開始分） 嵐山周辺・東山周辺の交通対策
(第4弾)	10月5日付け 広報発表	京都府警察と連携したマナー啓発媒体の改訂等
(第5弾)	10月6日付け 広報発表	「京都 秋の観光のススメ」の発行
(第6弾)	10月10日付け 広報発表	交通混雑緩和に向けた対策（11月開始分）
(第7弾)	10月12日付け 広報発表	「京都観光快適度マップ」混雑予測精度の向上、 ライブカメラ機能の拡充
(第8弾)	10月12日付け 広報発表	京都観光モラル宣言事業者による連携企画
(第9弾)	10月20日付け 広報発表	近畿運輸局との連携による京都駅における移動経路の分散化等に係る実証事業の実施